

平成 18 年度当初予算 施策別概要

533 流域圏づくりの推進

(主担当部：政策部)

53301 地域の個性を生かした流域圏づくり
(政策部)

53302 宮川流域ルネッサンス事業の推進
(政策部)

< 施策の目的 >

- (対象) 一級河川7流域をはじめとする県内の流域が
- (意図) 流域全体で地域の環境を大切にして、活性化している

< 施策の数値目標 >

目 標 項 目		H15年度	H16年度	H17年度	H18年度
きれいな水質を保持している一級河川の割合(10ヶ年平均)(%)	目標値	84.1	84.3	86.2	87.6
	実績(見込み)値	84.1	84.9	87.0	-

- ・県内の一級河川水系のうち、水質調査を定期的に行う調査地点のなかで、BOD(生物化学的酸素要求量)値が、環境基準(2mg/L以下)に定めるAAランクまたはAランク相当値を達成している地点の割合(10ヶ年平均)
- ・平成18年度の目標値は、平成19年度の春に把握できる最新のデータである平成17年度の実績数値により測ることとします。

< 平成18年度に残っている課題 >

宮川流域ルネッサンス事業については、第2次実施計画に基づく地域の自立的な取組を一層促進するとともに、次期実施計画を策定する必要があります。

宮川流域エコミュージアム事業については、流域案内人の自主的な活動を一層促進する必要があります。

宮川以外の流域圏においても、流域圏づくりの取組を活性化させる必要があります。

< 平成18年度の施策の取組方向 >

宮川流域ルネッサンス事業については、地域の自立的な取組を促進するため、円卓会議の場を活用して、流域の住民と行政の建設的な議論を深めるとともに、住民・企業・行政が協働して流域を巡る課題の解決に向けた具体的な取組を進める第3次実施計画を策定していきます。

宮川流域エコミュージアム事業については、流域案内人の自主的な活動を促進するとともに、市町との連携により拠点を整備するなど、地域への定着を図っていきます。また、この取組を全国に向け引き続き情報発信していきます。

宮川以外の流域圏においても「夏の鈴鹿川探検」などの様々な取組が行われており、情報交換会を開催し、流域間の交流を促進していきます。

<主な事業>

日本一の宮川をみんなで守ろう！推進事業費

【基本事業名：53302 宮川ルネッサンス事業の推進】

当初予算額： 11,258千円 10,270千円

事業概要：平成14、15、16年と3年連続して水質全国1位となった清流宮川を守るため、水問題、環境保全、地域振興といった課題を、上流から下流まで一体的にとらえ、住民と行政が協働し、総合的に解決を図る宮川流域ルネッサンス事業を推進します。

宮川流域エコミュージアム流域案内人養成事業費

【基本事業名：53302 宮川ルネッサンス事業の推進】

当初予算額： 8,000千円 8,000千円

事業概要：地域の環境を保全しつつ、地域の資源を活用して自立的な地域づくりを進める宮川流域エコミュージアムの核になる宮川流域案内人の育成や資質向上を支援し、住民主導の体制確立を促進します。

宮川流域エコミュージアム整備事業費【基本事業名：53302 宮川ルネッサンス事業の推進】

当初予算額： 12,000千円 7,000千円

事業概要：宮川流域エコミュージアムを多くの住民が参画しやすくするため、宮川流域案内人と連携を図り、既存施設の改修等、市町村が行う基盤整備を支援し、全国的に注目されるエコミュージアムづくりを進めます。